



# 2023年度「連帯社会」連続講座

主催：公益社団法人 教育文化協会  
連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込  
Zoom 開催

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第3回は、首藤若菜氏をお招きして、「物流の『2024年問題』から考える労働組合の役割」についてご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

参加申し込みは、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行いますので、同サイトの「イベント・シンポジウム」のページ<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。なお、Zoom ミーティングへのログインに必要な URL、ID、パスコードなどの情報は、ウェブサイト上の参加申込書にご登録いただいた参加予定者の e-mail 宛に、ご連絡します。事前連絡等事務手続きの都合上、参加申込は開催当日の前々日 17:00 までとさせていただきます。

## 第3回：物流の『2024年問題』から考える労働組合の役割

日時 2023年12月2日（土）15:00～16:40

場所 Zoom 開催 〈参加申込は11月30日（木）17:00 までにお願ひします。〉

講師：首藤 若菜 氏  
立教大学経済学教授

### 首藤若菜（しゅとう わかな）氏のプロフィール

専門は労使関係論、女性労働論。日本女子大学大学院人間生活学研究科博士課程単位取得退学、博士（学術）。山形大学人文学部助教授、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス労使関係学部客員研究員、日本女子大学家政学部准教授などを経て、2018年から現職。著書に、『雇用か賃金か 日本の選択』（筑摩選書）、『物流危機は終わらない—暮らしを支える労働のゆくえ』（岩波新書）、『グローバル化のなかの労使関係—自動車産業の国際的再編への戦略』（ミネルヴァ書房）など。

### プログラム \*Zoom 開催\*

15:00～16:00 講演  
16:00～16:40 質疑応答

※連帯社会研究交流センター・ウェブサイトで参加申込いただいた方には、ご指定のメールアドレス宛に、Zoom 会議開催 URL、ログイン ID、パスコードをご連絡します。

～お問い合わせ～  
連帯社会研究交流センター（ReCSS）  
e-mail: [info@recss.jp](mailto:info@recss.jp)  
URL: <http://recss.jp>





# 2023年度 「連帯社会」連続講座

主催：公益社団法人 教育文化協会  
連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要参加申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。下記を予定していますので、ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。参加申し込みは、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行いますので、同サイトの「イベント・シンポジウム」のページ<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。なお、Zoom ミーティングへのログインに必要な URL、ID、パスコードなどの情報は、ウェブサイト上の参加申込書にご登録いただいた参加予定者の e-mail 宛に、ご連絡します。

## 第1回：体験的アメリカ NPO 活動論

### —40 年に及ぶ運営と活動から学んだことと、伝えたいこと

日時：2023 年 9 月 30 日（土）15：00～16：40

場所：Zoom 開催

講師：坂本安子（Little Tokyo Service Center, Social Service Director（元）、  
Center For Pacific Asian Family, Advisory Board Member）

## 第2回：子どもと女性の貧困—NPO のアウトリーチ活動等を通して

日時：2023 年 10 月 21 日（土）15：00～16：40

場所：Zoom 開催

講師：武輪 敬心（豊橋技術科学大学ダイバーシティ推進センター 特任助教、  
NPO 法人子どもソーシャルワーク ONE TEAM 副代表理事）

参考文献：「10 代出産女性のライフコース -当事者女性の語りを通して考える「学び」の保障」、奈良女子大学  
博士論文（学長賞受賞）

## 第3回：物流の『2024 年問題』から考える労働組合の役割

日時：2023 年 12 月 2 日（土）15：00～16：40

場所：Zoom 開催

講師：首藤若菜（立教大学経済学部教授）

参考文献：『物流危機は終わらない—暮らしを支える労働のゆくえ』（岩波新書）、2018 年

## 第4回：貧困の現状と課題—「子どもの貧困」「女性と貧困」の視点から

日時：2024 年 1 月 20 日（土）15：00～16：40

場所：Zoom 開催

講師：藤原千沙（法政大学大原社会問題研究所教授）

参考文献：「日本における「子どもの貧困」問題」、『大原社会問題研究所雑誌』、No.711／2018 年 1 月；「貧困元年としての 1985 年 — 制度が生んだ女性の貧困」、『わたちの 21 世紀 No.57【特集】女性の貧困 — 何が見えなくしてきたのか？』、2009 年 3 月

## 第5回：建築に見る”個”と”連帯”：イギリスでの経験から

日時：2024 年 2 月 17 日（土）15：00～16：40

場所：Zoom 開催

講師：穎原澄子（千葉大学工学部准教授）

参考文献：「連載：連帯する個人：労働者・大衆の時代とその建築」、日本建築学会ウェブマガジン『建築討論』（<https://medium.com/kenchikutouron>）

## 第6回：アレクサンダー社会学の市民社会の思考について

日時：2024 年 3 月 16 日（土）15：00～16：40

場所：Zoom 開催

講師：兼子諭（法政大学社会学部兼任講師）

参考文献：『市民社会の文化社会学—アレクサンダー市民圏論の検討を中心に—』、2021 年、晃洋書房